

## 研究名

済生会横浜市南部病院における塩酸セベラマーの使用状況調査

### 1.研究の対象

2020年4月から2021年3月、当院において塩酸セベラマーが処方された入院患者

### 2.研究目的・方法

高リン血症は血清Ca濃度やPTHの上昇を引き起こし生命予後に関わる。高リン血症治療薬の1つである塩酸セベラマーの使用状況について調査を行った。塩酸セベラマーは血清リン濃度4.0mg/dL以上6.0mg/dL未満を目標に、血清リン濃度の程度により用量を調節するよう添付文書に記載されている。済生会横浜市南部病院における塩酸セベラマーの用量調節及び血清リン濃度の推移について調査を実施した。

### 3.研究に用いる情報の種類

観察研究

### 4.外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

### 5.研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 加藤 一郎

### 6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 奥村 梨央